

JTSU
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKER'S UNION
JR東日本輸送サービス労働組合

THE JTSU-E JOURNAL

2024年04月22日(月)
第50号

所在地: 〒135-0044 東京都江東区越中島 3-5-10
電話: 03-6458-5603 | FAX: 03-6458-5605
HP: <http://jtsu-e.com> | メール: union@jtsu-e.com
発行人: 佐々木 宏充 | 編集人: 奥 富 亨
1回(1冊)発行/1部20円
(組合員の購読料は組合費に含まれる)
QRコードは、(株)ファンクションウェアの登録商標です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちが目指す持続可能な社会(SDG)を実現しています。

職場の声に基づく輸送サービス労組運動で



4月上旬夕方 首都圏の『みどりの窓口』の様子

4月2日東北新幹線福島・白石蔵王間に保守用車両の故障(油漏れ)が発生し、約5時間半にわたる運転を見合わせ約4万3,500名の利用者に影響が出たほか、4月11日にも、東北新幹線北上・盛岡間に電力設備の損傷が原因の停車が発生しています。設備に起因する輸送障害が相次いで発生しており、利用者からも安全性に対する不安の声や、度重なる運転見合わせに厳しい指摘の声が多くあがっています。

新年度に入り、定期券を求める利用者が多く駅を訪れています。特に近年、みどりの窓口の廃止が相次ぎ、みどりの窓口のある駅では長蛇の列ができています。八王子地本三多摩支部では「利用者の声を聞くための街頭行動」を断り断り実施し「みどりの窓口」の廃止に関して、実際に駅を利用する利用者の方から意見を伺いました。意見を伺った約30名中20名以上から「(みどりの窓口が)あった方がよい」「ぜひ再開して欲しい」という声があがり、みどりの窓口での対面販売を求める声・ニーズが多いことを掴んできました。混雑対策として、番号札による呼び出しシステムや、座ってお待ちいただけるように椅子を導入する駅もありますが、根本的な解決には至っていません。窓口の数を増やすことを求められていることが、私たち輸送サービス労組の運動によって明らかになっています。

効率化を進めるあまり、安全・サービスレベルの低下を招き、負担を現場で働く組合員・社員、そして利用者押し付けていることはなりません。私たち輸送サービス労組は、憲法で保障された労働組合の活動として団体交渉を申し入れ、安全・サービスレベルの向上のため、今後も職場の声に基づき運動をつくり出します。

地域や社会から信頼されるJR東日本をつくり出そう!

発信者

▼4月1日、喜勢新社長が誕生。夢は必ずしも実現できるものではないかもしれませんが、681名の新人社員が共に働く「夢」を実現するためのひたむきな努力は、皆さんを大きく成長させてくれるでしょう。「私は、この夢の一語を送りたい」と述べた。27の表現に向けた各種施策実施による職場実態検証アンケート」結果では、「夢」の実現は共々目指していきましょう!

正当な組合活動を職場から推し進め、組合員の利益を守り抜くために!



3月28日「JR東日本(水戸地本)事件第3回日報告集会」

この間、水戸地本では「職場を離れて運動を中心し、労働組合としての活動のための運動を始めた」動きがあります。「労働時間の確保」に関して、勝間部運輸区及び水戸線業務所分団(以下勝間部)を代表して「労働組合」を行った結果、新J-ネットシステムによる労働時間短縮の削減作業(以下「削減作業」)は、労働時間として扱われ、明確に「削減作業」として扱われることになりました。削減作業は、労働時間として扱われ、明確に「削減作業」として扱われることになりました。削減作業は、労働時間として扱われ、明確に「削減作業」として扱われることになりました。

組合員は、労働組合の活動を通じて、職場での権利を守り、安全・サービスレベルの向上を実現するために、積極的に活動する必要があります。労働組合は、労働者の利益を守るために、職場での活動を推し進め、組合員の利益を守り抜くために、積極的に活動する必要があります。

STOP! 企業倫理の逸脱 NO! 企業犯罪

安全に安心して働けるJR東日本を取り戻すため、すべての仲間と健全な経営を実現させよう!

■ 水戸地本からの申立て (2023年3月13日提出)
3月28日(木)、東京都労働委員会において、第3回調査を開催。第4回調査は6月6日(木)10時30分から行われます。

■ 東京地本からの申立て (2022年11月25日提出)
5月9日(木)10時30分から東京都労働委員会において、第5回調査が行われます。

■ 八王子地本からの申立て (2023年1月18日提出)
4月11日(木)、東京都労働委員会において、第5回調査を開催。第6回調査は6月中旬以降(調整中)に行われます。

輸送サービス労組のレクリエーション・サークル活動

春の行楽シーズン到来

レクで仲間との親密を深める!

3月12日 豊田運輸区分会結成4周年記念パーティー

3月23日 東京支部 2024春の大感謝祭

4月5・6日 立川運輸区分会・立川車庫区分会・立川エリア分會合同BBQレク

全ての仲間とともに輸送サービス労組運動をつくり出し、安心して働けるJR東日本を実現しよう!



【訪日外国人】2024年3月史上初の300万人を突破し、2023年10月をピークに減少傾向にある中、4月18日、連合は2024年春季労使交渉における回答の第4回集計結果を発表した。ペアと定期昇給を合わせた「賃上げ平均」で、集計した3,283組合平均で、2.2%という結果が明らかになった。日本全体が1.99年以内の高水準の賃金引上げとされている中で、JR東日本においては、3月8日に過去に例のない早さで「1.0・5.98円(定算込み16,973円)」という、「新賃金」が示され、国鉄改革から間もない1992年の1.0・5.09円を更新した。

34年ぶりの田安は、様々な経済効果を生み出している。その一つが訪日外国人の増加だ。日本を訪れた外国人の多くは、ニュース番組のインタビューに対して、日本での飲食費は欧米諸国で、日本食に比べて半額以下で済む安さに驚く声を上げている。経済アナリストは「賃金が上がった日本が、安さで売りの国になってしまった」と危機感を露にしている。そして、田安効果も相まって、海外に旅行できない海外の物を買えないという表情に「みんな豊かにならなっている」と指摘し、その解決策として「高い給料を要求すること」に決意を表明している。JR東日本の経営は、新型コロナウイルスの影響から回復し、

賃金本質論に対する理解を深め、高まる労働密度に対して、夏季手当を補完する手当を日常活動の強化を通じて実現しよう!

4月30日に公表が予定されている2023年度期末決算では、当期純利益1,120億3千円を予想している。しかし、第一線で働く私たちは、それ以上に利益を計上するという感覚を持ち、日々の業務を担っている。この「足りない!」という感覚は、数字上でも証明できる。それは、JR東日本の営業収益に対する人件費の割合は年々低下しているからだが、しかも、コロナ禍で打ち出された4,000人削減など、多くのコスト削減施策の効果もあって、2023年度の人件費率は20%を下回る可能性もある。鉄道は固定費割合が高い経営上の特性はあるものだが、少ない社員数で従来以上の成果を求められ、労働の対価としてある賃金は間違いなく不足している。職場には、「貰えるものは貰えただけ貰う」という受動的な価値観が作り出されているが、それは働く者の「権利意識」が削ぎ取られてしまっていることを意味し、その結果、人間生活の豊かさも削ぎ取られている。JR東日本輸送サービス労働組合は、2024年度賃金のベースアップを実現する運動の過程で、夏季手当とは別し、思春手という業績への評価分として「年度末手当」を初めて要求した。「社員の努力によって豊かになった企業業績は、社員の生活の豊かさに繋げるために正しく還元されるべき」という考え方を基礎として夏季手当を要求した。ペアでは「夏季手当を補完する手当」として要求は変化しているが、組合員の豊かさを「躊躇」など一切ない。すべての職場からの「日常活動」を更に充実させる。すべての仲間、堂々と要求表現に向けて歩みを進めよう!

安全安定輸送が基盤となつてのジョブ型人事運用

【申26号】第1回:3月27日 第2回:4月4日

ジョブ型人事運用の実施・総合的な処遇改善の実現に関する申し入れ

ジョブ型人事運用の実施・総合的な処遇改善の実現に関する申し入れ

ジョブ型人事運用の実施・総合的な処遇改善の実現に関する申し入れ

- ① 難病や障がいのある子を養育する社員の勤務の見直し
これまでの育児・介護勤務の期間を「中学校3年生年度末」とする年勤労働時間の確保を実現
- ② インフルエンザ予防接種の費用負担の対象者の見直し
対象範囲を就業規則第77条2項(忌欠休暇・配偶者・父母・子・祖父母・孫・兄弟姉妹)までを会社負担となり補助拡大
- ③ 博士号特別措置の新設
学校教育法に定める博士号を取得した社員に対して月額25,000円を支給
- ④ 奨学金返還支援制度の新設
年間50,000円上限として入社後10年間、奨学金の一部を会社が半額返還する
- ⑤ カフェテリアポイントの対象範囲の見直し
「社員の生活の後の押し」「働きがいの向上」という基本的な視点から、社員の声を基に今後検討していくことを確認
- ⑥ カフェテリア・プランにおけるレジャー施設補助額の見直し
「社員の生活の後の押し」「働きがいの向上」という基本的な視点から、社員の声を基に今後検討していくことを確認

2024年3・4月期 団体交渉開催状況

3月27日	申26号	ジョブ型人事運用の実施・総合的な処遇改善の実現に関する申し入れ	第1回目	全項終了
	申28号	【JESS】地域に愛される駅を実現するために「働きがい」「生きがい」「やりがい」を持つ労働環境の実現を求める申し入れ	第1回目	全項終了
29日	申33号	【新幹線統括本部】「2024年度新幹線総合車両センター業務計画」「新幹線総合車両センター組織再編」「新幹線総合車両センター業務の一部委託」に関する申し入れ	第1回目	全項終了
4月2日	申34号	【新幹線統括本部】つばき121号が山崎駅にて所定停止位置を470m行き過ぎ停止信号の発進進路を冒した事象に対する緊急申し入れ	第1回目	全項終了
4日	申26号	ジョブ型人事運用の実施・総合的な処遇改善の実現に関する申し入れ	第2回目	全項終了
	申35号	横浜線中山駅構内で発生した墜落死亡事故に関する申し入れ	第1回目	全項終了
11日	申22号	【新幹線統括本部】東北新幹線 上野・大宮間において発生した輸送障害及び協力会社作業員の感電事故に関する緊急申し入れ	第2回目	全項終了
12日	申21号	JR東日本の最大の使命である鉄道の安全輸送の重要性を再認識し、「いのち」を守る「安全・現場第一」の企業文化の確立を求める緊急申し入れ	第2回目	全項終了

2024年3・4月期 新規申し入れ状況

4月12日	申38号	ワマン運動実施における諸課題の解決を求める申し入れ	全6項目
-------	------	---------------------------	------

第3回全地本事務局長・組織部長・業務部長会議を開催し、JTSU-E2024“春”の成果を確認!

4月5日、越中島事務所にて第3回全地本事務局長・組織部長・業務部長会議を開催し、JTSU-E2024“春”の総括を行い、成果を確認しました。

定期大会までの間、日常活動を強化し、輸送サービス労組への結束を堂々と訴えかけていくことを全参加者で意思統一しました。

JR東日本八王子駅パンフ配布処分事件
職場活動の規制を許さず、健全なJR東日本を実現しよう!
次回期日 6月17日(月)10時00分より

中村文治氏 不当解雇撤回裁判
西武バスユニオン所属、中村さんの不当解雇撤回等を求める訴訟が、4月17日に行われました。裁判官が文書提出命令を行った文書を会社が3年を経てようやく提出しました。裁判官も1名から3名の合議制となったことは画期的なことであり、たまたま前進している証左です。次回回は(7月17日(水)13時30分)です。連帯するすべての仲間と共に、労働者が安心して暮らせる社会を実現しましょう!